

## 各セクションの報告・情報

## THE:現場

しぶやホームでは入居者の皆さんが気軽に楽しめるイベントとして、リビングで行なうエクササイズが始まりました。講師の小林敦子先生は、ハーモニーパークという余暇活動支援団体を保護者有志で立ち上げ、調布、府中を中心に活動されている方です。以前に谷口さんの講演に出席されたこともあり、快く引き受けてくださいました。

7月25日、初回レッスンの日、少し緊張した面持ちでリビングに集まった皆さんですが、最初は椅子に座ったまま手足の運動、次に立ち上がってストレッチ、ダンスと続き、終盤のマツケンサンバでは、全員ノリノリで激しく棒を振って踊りました。あつという間の1時間でしたが、レッスンが終わり、自主的に協力しあってテーブルと椅子を元の位置に運ぶ皆さんを見て、小さな変化を感じました。また、先生に楽しそうに話しかける姿も見られ、和やかな雰囲気です。終了しました。今回マツケンサンバの時に持って踊る棒(通称:マツケン棒)の数が足りず、先生に作り方を教えていただいたのですが、ハーモニーパークを通じてこの活動を知った方の中から、なんと、人数分の新しいマツケン棒を作って下さるとい方が現れたそうなのです。思ってもみなかった申し出に感動し、とても嬉しい気持ちになりました。これからのレッスンと入居者、そしてマツケン棒がつながる縁、どうなっていくのか楽しみです。

(ささきまり)

## ぱれっと・ホーム

～エクササイズ&料理教室で  
楽しい余暇を～

8月25日(日)えびすホームにて、おかし屋ぱれっとの新商品開発で大変お世話になっている山野先生をお迎えし、はじめての料理教室を開きました。

冷蔵庫にある食材を見てその場でメニューを決め、みんなで簡単に作れる料理を考えてくださいました。

- ・卵チャーハン(ネギ入り)
- ・玉ねぎとコーンスープ(中華風)
- ・ピーマンとツナ炒め

参加したのは、ホームベテラン3人組(瑠奈さん、麻美子さん、太郎さん)。

意外と包丁は使ったことがある様子、玉ねぎ切り、ピーマンは手でちぎり、卵割りも3人ともスムーズ、フライパンで炒めるのは初挑戦のようでした。

スープや炒め物の味見をするのがとても楽しそうでした。

終始笑顔で、調理を楽しみながらお互いの距離が更に縮まった感がありました。

「次はナポリタンを作りたい!」と、料理の楽しさも味わえたようでした。

(そうま)



【自作の夕食は美味しかった!】

## たまり場ぱれっと

なつまつ  
～ぱれっと夏祭り 2024～  
がつよつ か にち やたいほんかくかいさい  
8月4日(日)屋台本格開催!!

リフレッシュ氷川で夏祭りを開催しました。ゲームの屋台をボウリング、フリスビー、わなげ、たま投げ、お菓子釣りの5種類。食べ物はフライドポテト、はしまき(お好み焼きのようなもの)、ベビークステラ、わたあめの4種類を用意しました。それぞれゲームと食事を楽しみ、締めくりに盆踊りとフラダンスを踊りました。とても愉快的な時間が流れました。夏休みということもあり、初参加の学生も多く来てくれ、準備からたくさんの方に協力していただきました。

しかし今年の夏も暑い。室内にも関わらず、50名を超える参加者の熱気で立っただけで汗が出てしまう状況でした。そのため、暑さによる体調変化を考慮し、予定時間より早めに切り上げることになりましたが、その熱気こそが盛り上がった証拠です。夏の楽しい思い出となりました。(たまり場ぱれっとボランティア 笹木慎祐)

## おかし屋ぱれっと

きょうそう かんせい  
～「共創」アートが完成!～

長年に渡り、毎月販売会を開かせていただくなど深いつながりのある「富士フィルムビジネスイノベーションジャパン」様。「グラフィックコミュニケーション東京」という最新のプリンターや印刷物を通じて「変革」と「共創連携」を体感できるショールームを新宿にオープンされました。入口を飾る



のは、竹森由維さんが独創的な感性で描き下ろしたプリンターの絵を、特殊色トナーを用い出力した20枚の色鮮やかなパネル。両者の強みを活かした「共創」アートです。母と見学に訪れた竹森さんは「最初に見た時は、えっ…!とびっくりして言葉が出ませんでした。それから、めっちゃいい!と思いました。感動しました!」と話しています。目に涙を浮かべる竹森さんの姿を見てスタッフもホロリ。すてきな連携の機会をいただき、本当にありがとうございました。(たまい)

## ぱれっとの家 いこっと

ていねい せつめい  
～ひとりずつ丁寧に説明～

特集にも掲載されている、いこっとの事業変更について、現在の入居者への説明が始まりました。それぞれ事情が異なることもあり、ひとりずつ、人によってはご家族も同席の上でお話しの機会を設けています。来年3月末で事業を終了するため、現在の賃貸借契約がそれまでとなることを中心に、事業変更の理由などをできるだけ丁寧に話すことを心がけています。まだ全員の対応は完了していませんが、9月中には皆さんにお話しをする予定です。グループホームになると、引き続き暮らせなくなる人たちもいるため、大変心苦しいところですが、ご理解いただけるように丁寧に説明していきたいと思ひます。(みなみやま)